田尻町文化財調査報告　第13集

田尻町内遺跡群発掘調査概要 7

2006.3

泉南郡田尻町教育委員会

はじめに

埋蔵文化財（遺物・遺構）を包蔵している遺跡は、普段は私達の目に触れることはほとんどありません。地中の中で永い年月の間、遺構や遺物などの埋蔵文化財は保存されてきましたが、開発等による掘削工事により埋蔵文化財が破壊されてきています。

遺跡には、田尻町の先人達の大切なメッセージが埋蔵文化財として託されています。そのメッセージを現在の町民、更には未来の町民に伝えてゆかなければなりません。

本書は、平成18年度埋蔵文化財国庫補助事業として田尻町教育委員会が実施した開発確認調査や試掘調査の成果を収録しています。この地域の歴史像をさらに豊かにするための資料として活用していただければ幸いです。

概要を報告するに当たり、調査にご協力いただいた地元の方々並びに関係各位にお礼申し上げるとともに、今後とも文化財保護にご理解とご協力をお願い申しあげます。

平成18年３月31日

泉南郡田尻町教育委員会
教育長　二澤　隆史

例　　言

1．　本書は、泉南郡田尻町教育委員会が平成17年度に国庫補助金を受けて実施した、大阪府泉南郡田尻町域における埋蔵文化財緊急発掘調査の概要報告である。

2．　調査は泉南郡田尻町教育委員会社会教育課文化財保護係　中野篤史を担当者として、平成17年4月1日に着手し、平成18年3月31日に終了した。

3．　本書における図面の標高はT.P.（東京湾平均潮位）を用い、また方位については磁北を示す。

4．　調査の実施にあたっては、下記の諸氏の参加協力を得た。
阪田裕美子、河瀬一裕

5．　現地調査にあたっては、土地所有者をはじめとする工事関係者等多くの方々の協力を得た。感謝の意を表する。

6．　本書の執筆、編集は中野、阪田がおこなった。

7．　本書は、平成17年1月から平成17年12月までに実施した調査を掲載し、平成18年1月以降分については、次年度の概要報告書に掲載する。

目　　次

第１章　埋蔵文化財調査の現状
１．田尻町の位置と環境……1
２．平成17年度の埋蔵文化財調査の現状 …… 1
３．各遺跡の概要 …… 3

第２章　調査の概要
各種開発確認調査01 …… 6
各種開発確認調査02 …… 7
各種開発確認調査03 …… 9
各種開発確認調査04 ……10
各種開発確認調査05 ……13
各種開発確認調査06 ……15
まとめ ……16

報告書抄録 ……巻末

挿　　図

図１　田尻町位置図 …… 1
図２　遺跡分布図 …… 5
図３　調査地点位置図（各種開発確認調査01） …… 6
図４　調査区設定図（各種開発確認調査01） …… 6
図５　トレンチ１断面図（各種開発確認調査01） …… 7
図６　トレンチ１平面図（各種開発確認調査01） …… 7
図７　トレンチ２断面図（各種開発確認調査01） …… 7
図８　トレンチ２平面図（各種開発確認調査01） …… 7
図９　調査地点位置図（各種開発確認調査02） …… 8
図10　調査区設定図（各種開発確認調査02） …… 8
図11　トレンチ１断面図、平面図（各種開発確認調査02） …… 9
図12　トレンチ２断面図、平面図（各種開発確認調査02） …… 9
図13　トレンチ３断面図、平面図（各種開発確認調査02） …… 9
図14　出土遺物（各種開発確認調査02） …… 9
図15　調査地点位置図（各種開発確認調査03） …… 10
図16　調査区設定図（各種開発確認調査03） …… 10
図17　土層断面図（各種開発確認調査03） …… 10

図18　調査地点位置図（各種開発確認調査04）……10
図19　調査区設定図（各種開発確認調査04）……11
図20　トレンチ１断面図、平面図（各種開発確認調査04）……11
図21　トレンチ２断面図、平面図（各種開発確認調査04）……11
図22　トレンチ３断面図、平面図（各種開発確認調査04）……12
図23　トレンチ４断面図、平面図（各種開発確認調査04）……13
図24　調査地点位置図（各種開発確認調査05）……13
図25　調査区設定図（各種開発確認調査05）……14
図26　トレンチ１断面図、平面図（各種開発確認調査05）……14
図27　トレンチ２断面図、平面図（各種開発確認調査05）……14
図28　調査地点位置図（各種開発確認調査06）……15
図29　調査区設定図（各種開発確認調査06）……15
図30　土層断面図（各種開発確認調査06）……15

挿　表

表１　過去５年間の届出件数表……1
表２　遺跡別発掘届出件数表……1
表３　届出・通知・試掘依頼一覧……2

図　版

図版１　トレンチ１全景（各種開発確認調査01）　トレンチ２全景（各種開発確認調査01）
図版２　トレンチ１全景（各種開発確認調査02）　トレンチ２全景（各種開発確認調査02）
図版３　トレンチ３全景（各種開発確認調査02）　土層堆積状況（各種開発確認調査03）
図版４　トレンチ１全景（各種開発確認調査04）　トレンチ２全景（各種開発確認調査04）
図版５　トレンチ３全景（各種開発確認調査03）　トレンチ３ピット１（各種開発確認調査04）
図版６　トレンチ３ピット２（各種開発確認調査04）　トレンチ３ピット３（各種開発確認調査02）
図版７　トレンチ４全景（各種開発確認調査04）　トレンチ１全景（各種開発確認調査05）
図版８　トレンチ２全景（各種開発確認調査05）　トレンチ全景（各種開発確認調査06）

第１章　文化財調査の状況

１．田尻町の位置と環境

田尻町は大阪府の南西部、大阪湾海岸線の中央部に位置し、東は泉佐野市、南西は泉南市に接し、北西は大阪湾に面する。町域の面積は約4.7平方㎞である。海岸線に並行して南海本線が、町域南部を国道26号線がとおり、泉南地域の基幹交通路となっている。町域の北東部から中央部にかけて田尻川、南西部を樫井川が流れ大阪湾に注いでいる。

図１　田尻町位置図

２．平成17年度の埋蔵文化財調査の現状

田尻町はこれまで、近隣市町村と比較してあまり開発が及ばなかった地域であったが、近年は分譲住宅等ミニ開発が多くなりつつある。平成17年度における文化財保護法第93条、第94条に基づく土木工事等による埋蔵文化財発掘の届出は、17件である。そのうち、民間開発が17件、個人住宅建築が０件、公共工事が０件となっている。また、遺跡範囲外での各種開発確認調査のための試掘依頼の件数は５件となっている。過去５年間の文化財保護法関係の届出件数は表１、表２のとおりである。また、平成17年度調査地は表３のとおりである。

	個人住宅	民間開発	公共工事	合計
平成13年度	2	3	7	12
平成14年度	8	2	4	14
平成15年度	4	1	1	6
平成16年度	2	1	2	5
平成17年度	0	17	0	17

（遺跡発見届出を含む）

表１　過去５年間の届出件数表

番号	遺跡名	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
1	田尻遺跡	9	13	5	2	1
2	夫婦池遺跡					
3	船岡山遺跡	1			1	1
4	嘉祥神社本殿					
5	船岡山南遺跡					
6	藤波遺跡					
7	吉見藩陣屋跡	2	1		2	2
8	羽倉崎遺跡			1		
9	樫井西遺跡					
10	林嵜遺跡					
11	中島遺跡					13

（遺跡発見届出を含む）

表２　遺跡別発掘届出件数表

	申請者名	申　請　地	原因	遺跡名	指導事項	検出遺構	出土遺物
1	宗教法人	田尻町大字嘉祥寺地内	寺院建築	範囲外	開発確認	なし	なし
2	民間開発事業者	田尻町大字吉見地内	分譲住宅	範囲外	開発確認	なし	土師器、瓦器、陶磁器
3	**民間開発事業者**	**田尻町大字吉見地内**	**分譲住宅**	**田尻遺跡**	**発掘調査**	**なし**	**なし**
4	民間開発事業者	田尻町大字嘉祥寺地内	宅地造成	範囲外 遺跡発見	開発確認	ピット、溝	須恵器、土師器、瓦器
5	**ガス会社**	**田尻町大字吉見地内**	**ガス管埋設**	**吉見藩陣屋跡**	**慎重工事**		
6	**ガス会社**	**田尻町大字吉見地内**	**ガス管埋設**	**吉見藩陣屋跡**	**慎重工事**		
7	**民間開発事業者**	**田尻町大字吉見地内**	**宅地造成**	**4の発見届出 中島遺跡**	**慎重工事**		
8	個人事業者	田尻町大字吉見地内	共同住宅	範囲外	開発確認	なし	なし
9	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**発掘調査**	**落ち込み**	**あり**
10	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**発掘調査**		
11	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**発掘調査**	**土坑、小穴**	**あり**
12	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**発掘調査**	**落ち込み**	**あり**
13	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**発掘調査**	**なし**	**あり**
14	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**発掘調査**	**ピット、 土坑**	**あり**
15	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**工事立会**	**なし**	**なし**
16	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**工事立会**	**なし**	**なし**
17	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**工事立会**	**なし**	**なし**
18	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**工事立会**	**なし**	**なし**
19	**ガス会社**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**ガス管埋設**	**船岡山遺跡**	**慎重工事**		
20	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**工事立会**	**なし**	**なし**
21	民間開発事業者	田尻町大字嘉祥寺地内	宅地造成	範囲外	慎重工事		
22	民間事業者	田尻町大字嘉祥寺地内	店舗	範囲外	開発確認	なし	なし
23	**民間開発事業者**	**田尻町大字嘉祥寺地内**	**分譲住宅**	**中島遺跡**	**工事立会**	**なし**	**なし**
24	個人事業者	田尻町大字吉見地内	共同住宅	範囲外	開発確認		

※太字は文化財保護法に基づく届出・通知

表3　届出・通知・試掘依頼一覧

3．各遺跡の概要

1．田尻遺跡

田尻遺跡は、本町の中央部に標高５ｍ～７ｍにかけて位置する古墳時代から中世にかけての遺物散布地である。これまでに19カ所の調査を実施しているが、各調査の調査面積が狭小なため、遺跡の性格は不明である。これまでの調査で中世から近世にかけての粘土採掘抗や古墳時代から奈良時代ころと思われる小規模な溝などが、検出されている。須恵器・土師器・瓦器・陶磁器・瓦などが古墳時代から近世にかけての遺物が出土している。

2．夫婦池遺跡

夫婦池遺跡は、田尻町の南部、泉佐野市にまたがる、標高７ｍ～９ｍにかけて位置する弥生時代から古墳時代にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝状遺構、井戸、柱穴群、スキ溝が検出されている。弥生土器、土師器、須恵器、瓦器・陶磁器などが出土している。

3．船岡山遺跡

船岡山遺跡は、田尻町の東部、泉佐野市にまたがる、樫井川の右岸に沿う沖積段丘上に位置する縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての遺物包含層がある遺跡である。これまでに大阪府教育委員会、泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝、土壙、柱穴が検出されている。弥生器、土師器、須恵器、瓦器等が出土している。

4．嘉祥神社本殿

桃山建築様式を伝える江戸時代初期の神社建築物。大阪府指定文化財。

5．船岡山南遺跡

田尻町の南東部、泉佐野市に広がる標高８ｍ～10ｍに位置する弥生時代～中世にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市域で調査がおこなわれているが、遺構は検出されていない。遺物は土師器、瓦器が出土している。

6．藤波遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10ｍ～12ｍに位置する中世の遺物散布地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で、溝、ピットが検出されている。遺物は瓦器、土師器、陶磁器が出土している。

7．吉見藩陣屋跡

田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高４ｍ～５ｍに位置する中世～近世にかけての遺物散布地である。これまでの調査では、粘土採掘壙などが検出されている。遺物は、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器が出土している。

なお、遺跡内には大阪府指定有形文化財（建造物）田尻歴史館（旧谷口家吉見別邸）がある。

8．羽倉崎遺跡

田尻町の北東部、主に泉佐野市に広がる標高３ｍ～６ｍに位置する古墳時代の遺物散布地である。これまでの調査では、遺構は検出されていない。遺物は土師器が出土している。

9．樫井西遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10ｍ～11ｍに位置する弥生～中世の遺跡である。これまでの泉佐野市教育委員会の調査で、弥生時代中期の方形周溝墓、中世の掘立柱建物址などが検出されている。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、陶磁器が出土している。

10．林峠遺跡

田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高２ｍ～４ｍに位置する近世墓地跡である。近代に移転された。これまでの調査により土壙、スキ溝などが検出されている。遺物は、陶磁器のほか弥生土器、土師器が出土している。

11．中島遺跡

田尻町の中央部に所在する標高3.5～４ｍに位置する中世～近世の集落跡である。平成15年度に実施した試掘調査により新規に発見した。土壙、小穴等の遺構が検出されている。遺物は瓦器、土師器が出土している。

（参考文献）　書　　名	編集・発行	発行年
『泉佐野市所在遺跡発掘調査概要Ⅰ』	泉佐野市教育委員会	1981.3
『昭和56年度　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ』	泉佐野市教育委員会	1982.3
『大阪府文化財調査概要　1984年度』所収		
「田山遺跡発掘調査概要　付章　田尻遺跡の調査」	大阪府教育委員会	1985.3
『昭和60年度　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅵ』	泉佐野市教育委員会	1986.3
『大婦池遺跡発掘調査報告書』	泉佐野市教育委員会	1986.3
『昭和61年度　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅶ』	泉佐野市教育委員会	1987.3
『昭和62年度　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅷ』	泉佐野市教育委員会	1988.3
『昭和62年度　田尻遺跡・船岡山遺跡発掘調査概要』	大阪府教育委員会	1988.3
『昭和63年度　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅸ』	泉佐野市教育委員会	1989.3
『平成２年度　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要』	泉佐野市教育委員会	1991.3
『泉南郡遺跡群発掘調査概要・Ⅲ』	大阪府教育委員会	1993.3
『田尻遺跡発掘調査概要』	田尻町教育委員会	1994.7
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成６年度』	泉佐野市教育委員会	1995.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　第22号』	泉佐野市教育委員会	1996.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成９年度』	泉佐野市教育委員会	1998.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成10年度』	泉佐野市教育委員会	1999.3

遺跡地名表

番号	遺跡名	種　類	時 代	地 目	立地	摘　　要
1	田尻遺跡	散布地	古墳	田・宅地	平地	土師器、須恵器(散布地)
2	夫婦池遺跡	散布地	弥生～古墳	溜池・畑地	平地	土師器、須恵器、瓦器(泉佐野市教委)
3	船岡山遺跡	散布地	縄文～弥生	田・畑地	平地	サヌカイト(散布地)
4	嘉祥神社本殿	建造物	近世		平地	府指定有形文化財(昭和50年3月31日)
5	船岡山南遺跡	散布地	弥生～古墳	田・溜池	平地	
6	藤波遺跡	散布地・集落跡	中世	田	平地	
7	吉見藩陣屋跡	陣屋跡	中世	宅地	平地	現況は春日神社と既存集落
8	羽倉崎遺跡	散布地	古墳	宅地	平地	
9	樫井西遺跡	集落跡	弥生～中世	田	平地	
10	林嵜遺跡	その他の墓	近世	宅地	平地	陶磁器、弥生土器
11	中島遺跡	集落跡	中世	宅地	平地	土師器、須恵器、瓦器

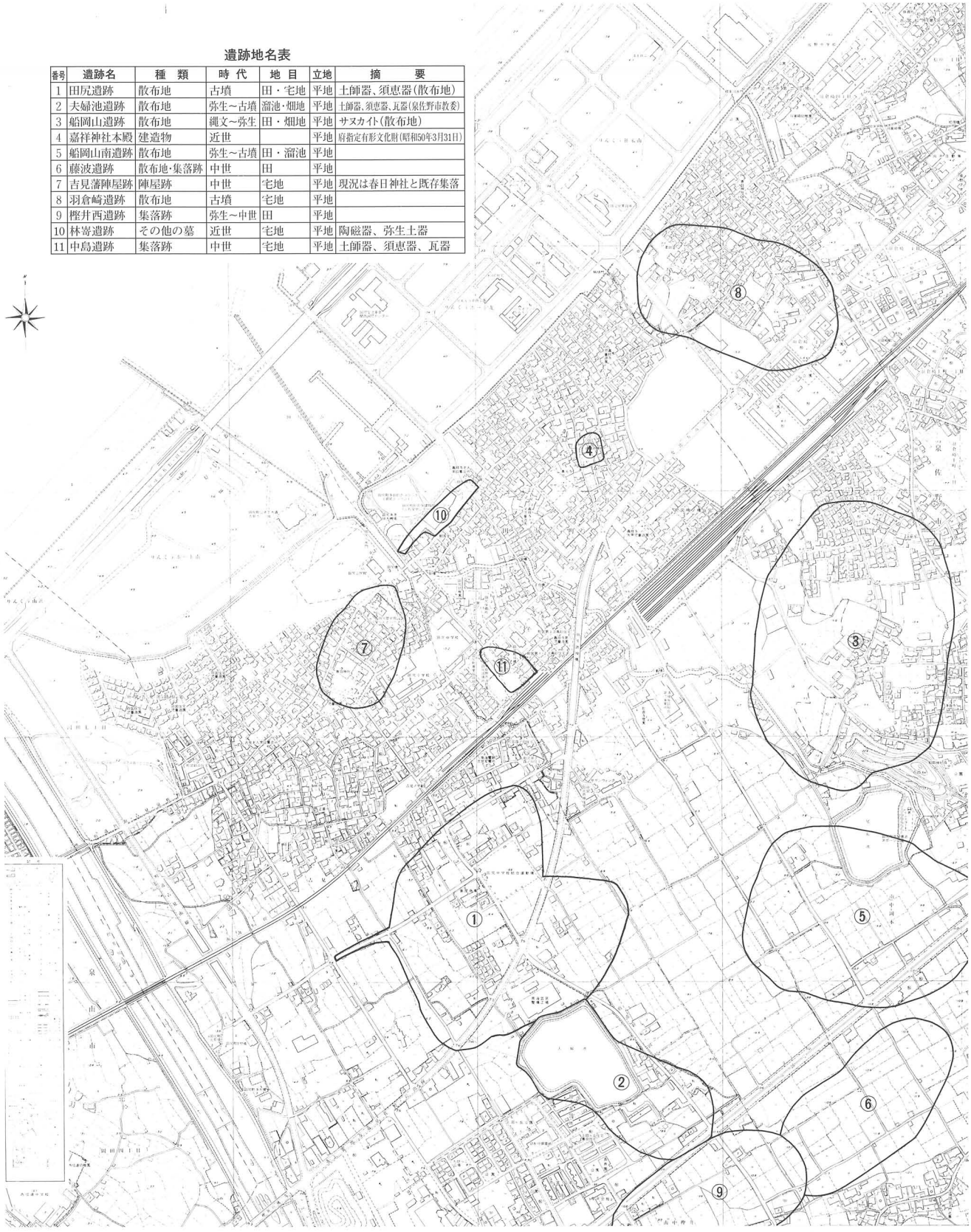


図2　遺跡分布図

第２章　調査の概要

各種開発確認調査01

１．遺　跡　名　　範囲外
２．申　請　者　　宗教法人
３．調　査　地　　田尻町大字嘉祥寺地内
４．調査原因　　社寺建設
５．申請面積　　3,110.6㎡
６．調査面積　　32㎡
７．調査期間　　平成17年2月28日～3月1日
８．調査機関名　　田尻町教育委員会
９．調査の概要

図3　調査地点位置図（1/5,000）

今回の調査は寺院建築に伴う開発確認調査である。調査地は、町の中央部、標高4ｍに位置している。付近には調査地の東側に田尻川が蛇行しながら大阪湾に流れている。また南西側には平成16年度に新たに発見された中島遺跡や北西側に吉見藩陣屋跡遺跡が所在している。

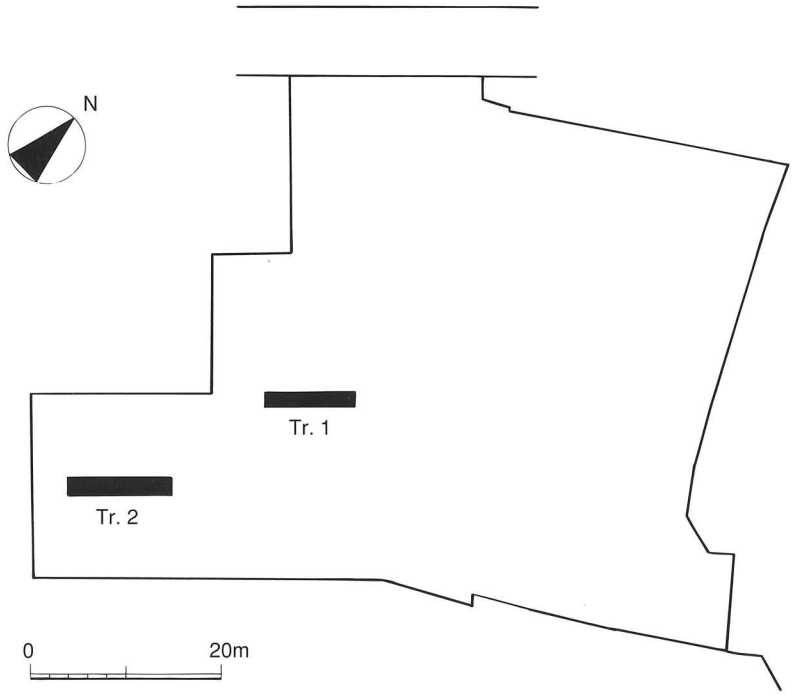


図4　調査区設定図（1/800）

調査は、開発区域内本堂及び客殿建設部分に調査区を2カ所設定し、32㎡について実施した。

トレンチ1

本堂建設部分に幅1.5ｍ、長さ11ｍの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行った。トレンチ1の層序は上から盛土（層厚約50㎝）、緑灰色土（10G5/1、層厚約10㎝）、地山の順である。遺構、遺物は検出されなかった。

トレンチ2

客殿建設部分に幅1.5ｍ、長さ10ｍの調査区を設定し、トレンチ1と同様に調査を進めた。トレンチ2の層序は上から盛土（層厚約40㎝）、にぶい黄褐色土（10YR4/3、層厚約10㎝）、地山の順である。遺構、遺物は検出されなかった。

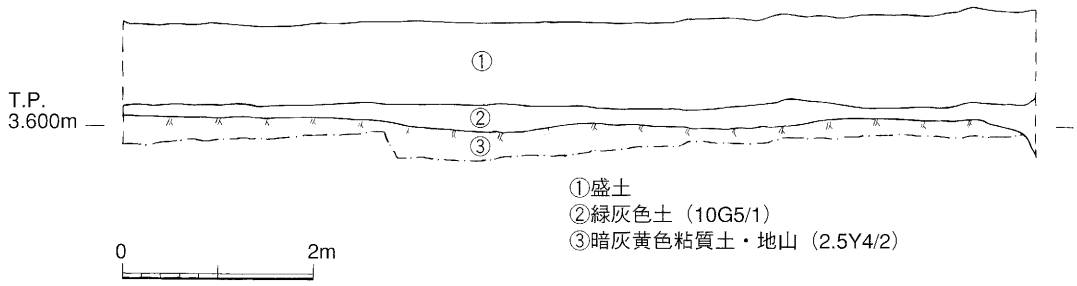


図5　トレンチ１断面図（縦1/40、横1/80）

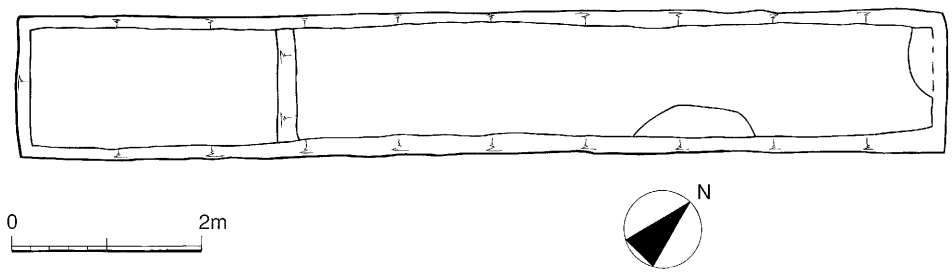


図6　トレンチ１平面図（1/80）

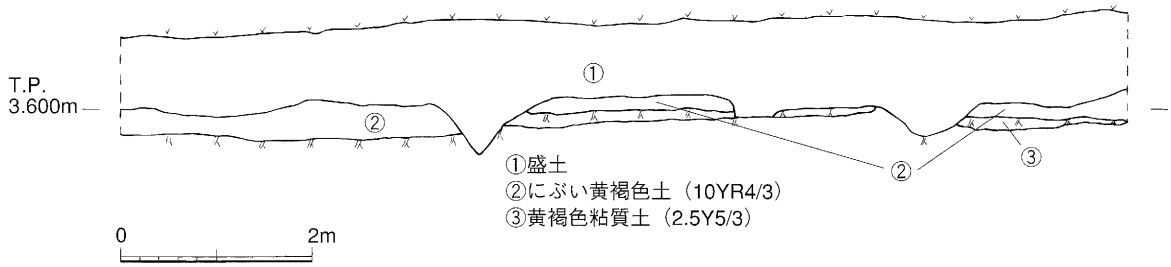


図7　トレンチ２断面図（縦1/40、横1/80）

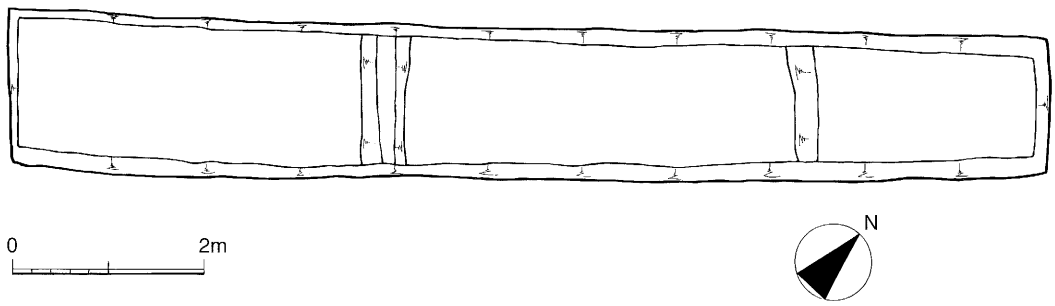


図8　トレンチ２平面図（1/80）

各種開発確認調査02

1．遺　跡　名　範囲外

2．申　請　者　民間開発事業者

3．調　査　地　田尻町大字吉見地内

4．調査原因　分譲住宅

5．申請面積　696.9㎡

6．調 査 面 積　17㎡

7．調 査 期 間　平成17年5月25日
～5月27日

8．調査機関名　田尻町教育委員会

9．調査の概要

今回の調査は分譲住宅建築に伴う開発確認調査である。調査地は、町の中央部、標高4ｍに位置している。調査地の付近には吉見藩陣屋跡遺跡の他、春日神社、浄林寺、正善寺など近世社寺が所在している。

調査は開発区域内に3カ所の調査区を設定し、17㎡について実施した。

トレンチ1

調査地の北部に幅2ｍ、長さ2ｍの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行い、調査を実施した。トレンチ1の層序は上から盛土（層厚約40㎝）、暗褐色砂質土（7.5YR3/4、層厚約35㎝）、黒褐色砂質土（10YR3/2、層厚約30㎝）、にぶい黄褐色砂（10YR4/3）の順に堆積している。地表面から1ｍ掘削したが、さらに下までにぶい黄褐色砂が堆積している状態である。黒褐色砂質土中より土師器、瓦器の破片が出土している。

トレンチ2

調査地の北部に幅2ｍ、長さ2ｍの調査区を設定した。トレンチ2の層序は上から盛土（層厚約40㎝）、暗褐色砂質土(7.5YR3/4、層厚約30㎝)、黒褐色砂質土（10YR3/2、層厚約20㎝）、にぶい黄褐色砂（10YR4/3）の順に堆積している。黒褐色砂質土中より土師器、瓦器の破片が出土している。

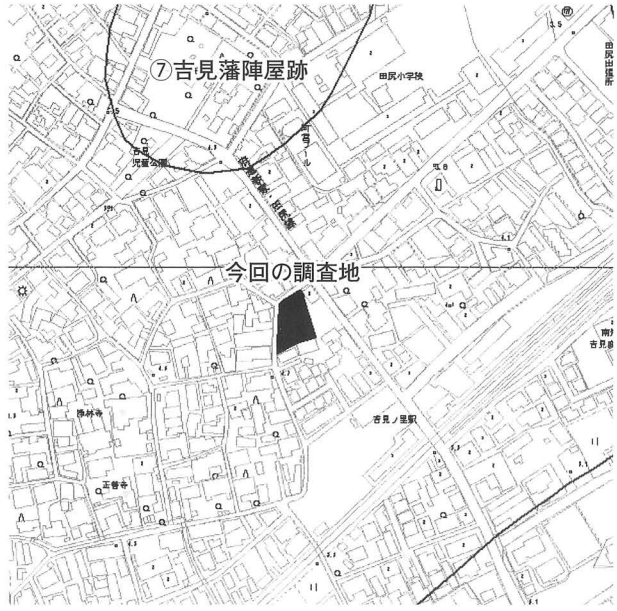


図9　調査地点位置図（1/5,000）

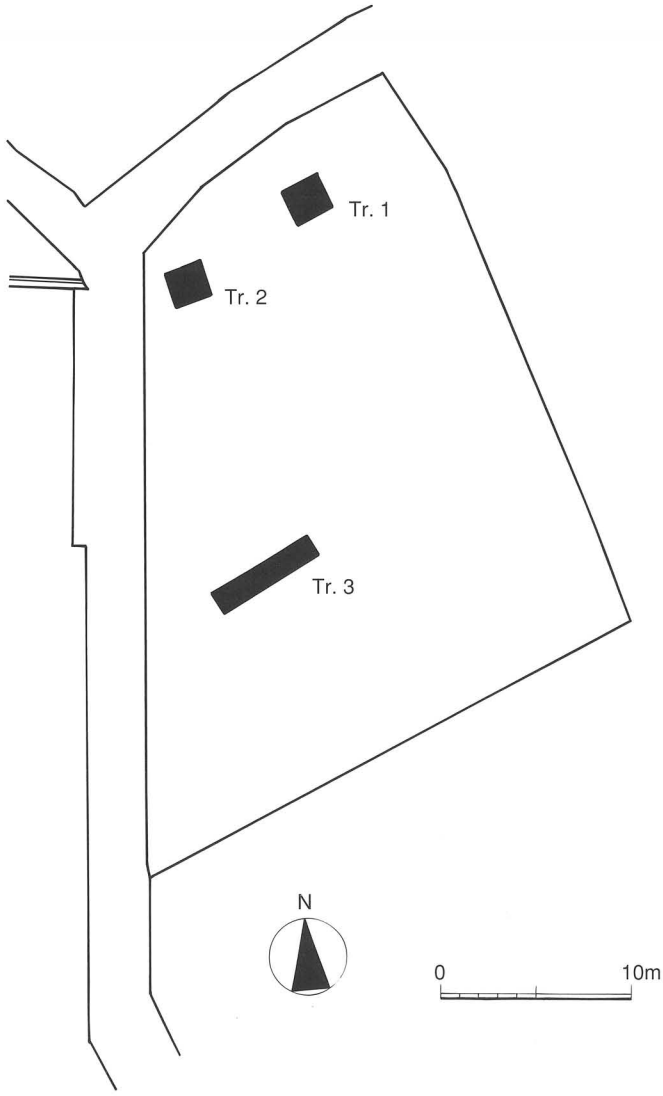


図10　調査区設定図（1/400）

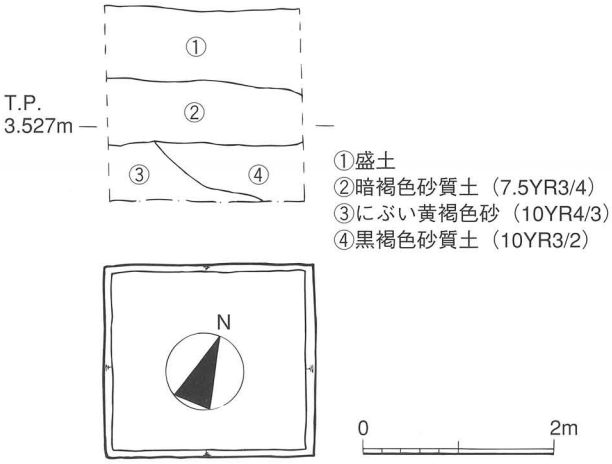


図11　トレンチ1断面図（縦1/40、横1/80）、平面図（1/80）

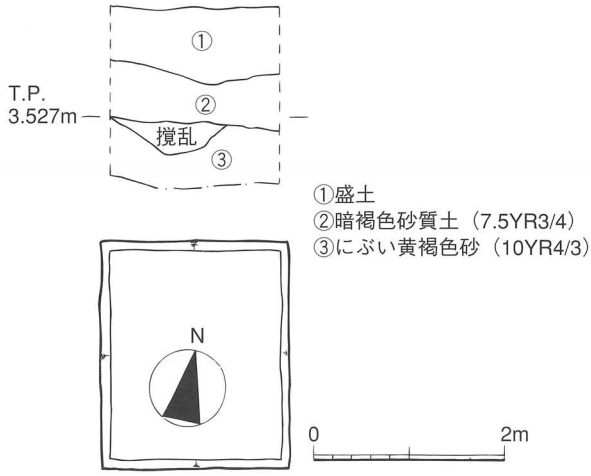


図12　トレンチ2断面図（縦1/40、横1/80）、平面図（1/80）

トレンチ3

調査地の南部に幅1.5ｍ、長さ6ｍの調査区を設定した。トレンチ3の層序は上から盛土（層厚約50㎝）、暗褐色砂質土（7.5YR3/4、層厚約30㎝）、にぶい黄褐色砂（10YR4/3）である。遺物は陶磁器片が出土している。

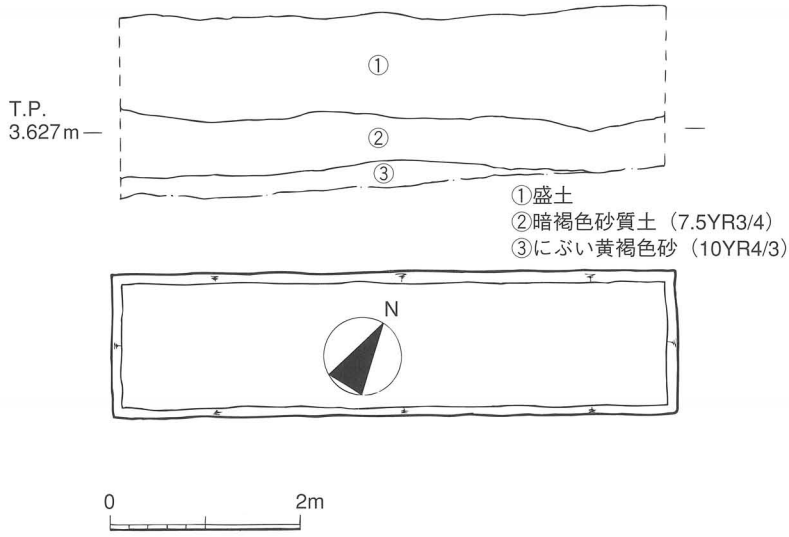


図13　トレンチ3断面図（縦1/40、横1/80）、平面図（1/80）

出土遺物

各調査区より遺物が出土し実測可能なものについて、図14にまとめた。

トレンチ1より土師器杯（3）、瓦器椀（4）、トレンチ2より土師器甕（1）、トレンチ3より陶器（2）、（5）が出土している。

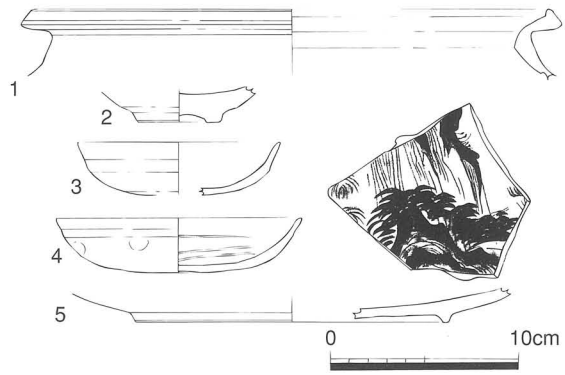


図14　出土遺物

各種開発確認調査03

1．遺　跡　名　田尻遺跡

2．申　請　者　民間開発事業者

3．調　査　地　田尻町大字吉見地内

4．調 査 原 因　分譲住宅
5．申 請 面 積　204.4㎡
6．調 査 面 積　2㎡
7．調 査 期 間　平成17年7月11日
8．調査機関名　田尻町教育委員会
9．調査の概要

今回の調査は分譲住宅建築に伴う試掘調査である。田尻遺跡での第20次調査にあたる。これまでの田尻遺跡の調査で弥生時代から古墳時代にかけての溝、近世の粘土採掘土坑が確認されている。

調査は浄化槽設置場所に調査区を設定し、2㎡について調査を実施した。

調査区の層序は上から盛土（層厚約90㎝）、旧耕土（層厚約5㎝）、黄灰色粘質土（層厚約35㎝）、黄橙色粘質土（地山）の順である。遺構、遺物は検出していない。

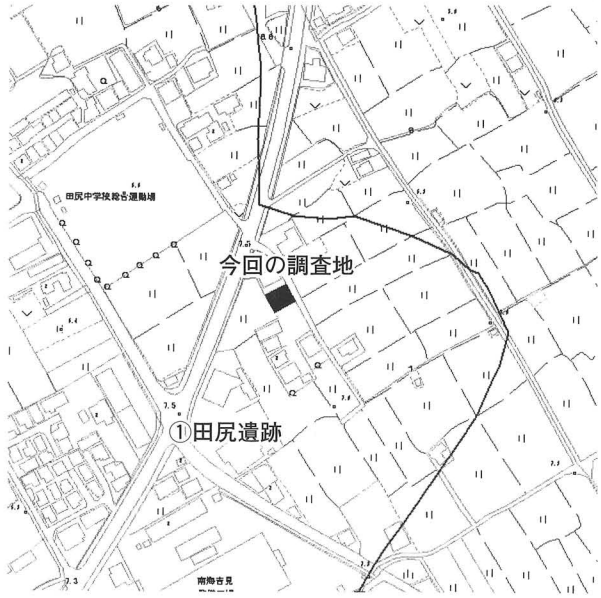


図15　調査地点位置図（1/5,000）

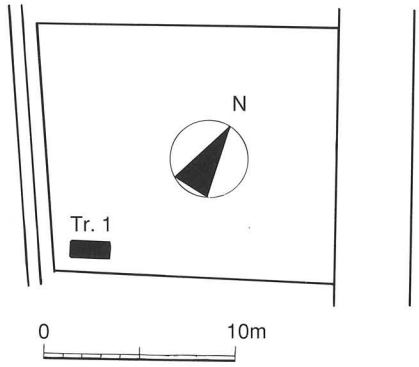


図16　調査区設定図（1/400）

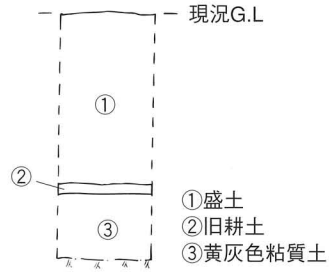


図17　土層断面図
（縦1/40、横1/80）

各種開発確認調査04

1．遺　跡　名　範囲外（遺跡発見）
2．申　請　者　民間開発事業者
3．調　査　地　田尻町大字吉見地内
4．調 査 原 因　宅地造成
5．申 請 面 積　2,515.15㎡
6．調 査 面 積　45㎡
7．調 査 期 間　平成17年6月20日
　　～6月24日
8．調査機関名　田尻町教育委員会
9．調査の概要

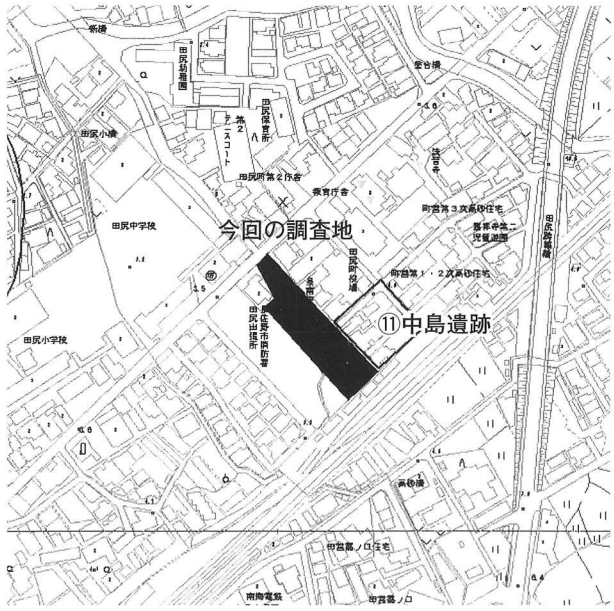


図18　調査地点位置図（1/5,000）

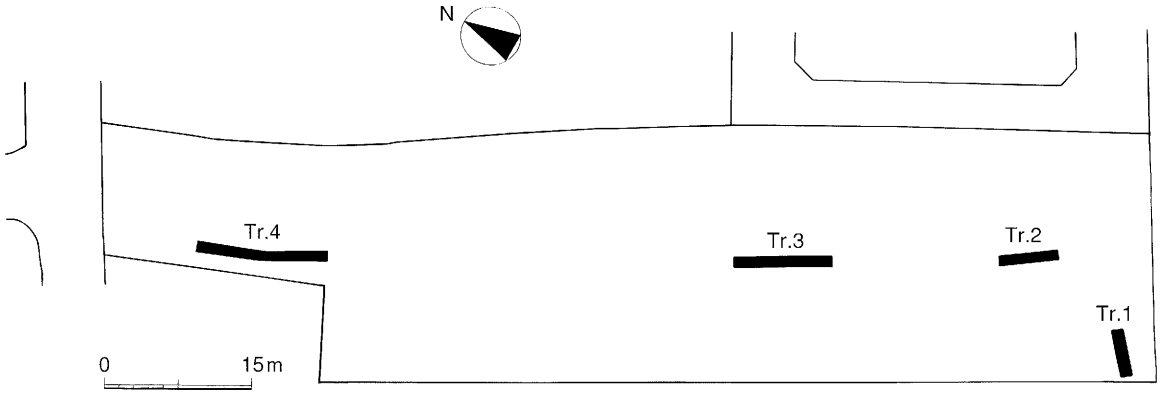


図19　調査区設定図（1/750）

今回の調査は分譲住宅宅地造成に伴う開発確認調査である。調査地は、町の中央部、標高4ｍに位置している。付近には調査地の東側に田尻川が蛇行しながら大阪湾に流れている。また中島遺跡に隣接し、北西側に吉見藩陣屋跡遺跡が所在している。中島遺跡は町営住宅建設に伴う試掘調査で発見された遺跡で柱穴が多数検出された中世期の集落跡である。

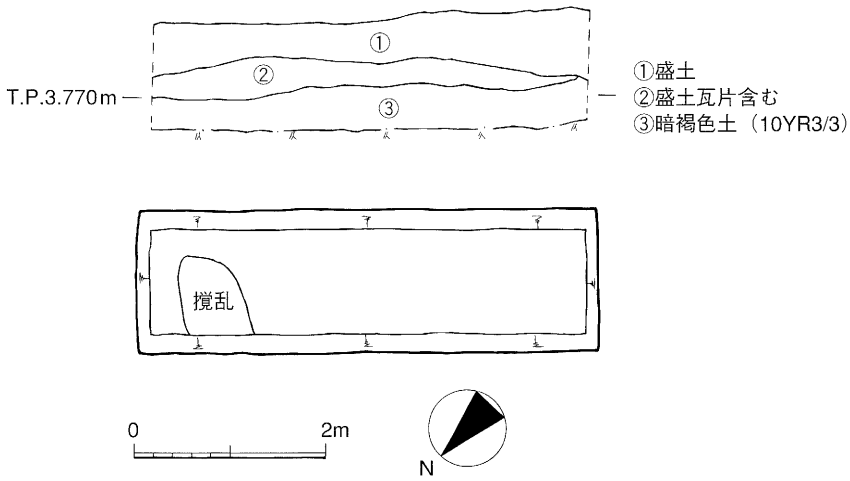


図20　トレンチ１断面図（縦1/40、横1/80）、平面図（1/80）

調査は、道路部分に4カ所の調査区を設定し、45㎡について調査を実施した。

トレンチ1

今回の調査地の南端に幅1.5ｍ、長さ5ｍの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行い、調査を実施した。調査区の層序は、上から盛土

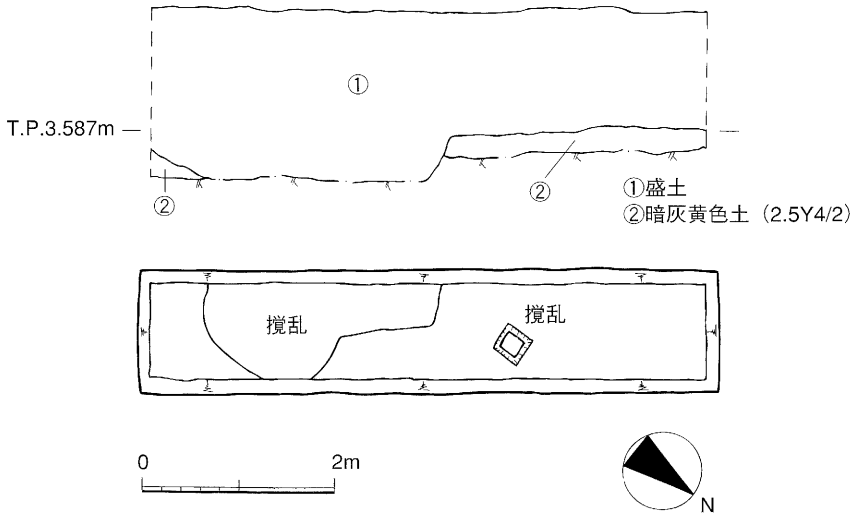


図21　トレンチ２断面図（縦1/40、横1/80）、平面図（1/80）

(層厚約40cm)、暗褐色土（10YR3/3、層厚約20cm)、地山の順である。遺構、遺物は検出していない。

トレンチ2

調査地の南部に幅1.5ｍ、長さ5ｍの調査区を設定し調査を実施した。調査区の層序は上から盛土（層厚約60cm)、暗灰黄色土（2.5Y4/2、層厚約10cm)、地山の順に堆積している。調査区の南半部は撹乱により破壊されていた。遺構、遺物は検出していない。

トレンチ3

町営住宅に伴う発掘調査時に多数のピットを検出した付近で今回の調査地の中央部に幅1.5ｍ、長さ10ｍの調査区を設定した。

調査区の層序は上から盛土（層厚約50～60cm)、にぶい黄褐色土（10YR4/3、層厚約20cm)、地山の順である。

遺物は包含層（にぶい黄褐色土）より須恵器、土師器、瓦器、陶磁器片が出土している。

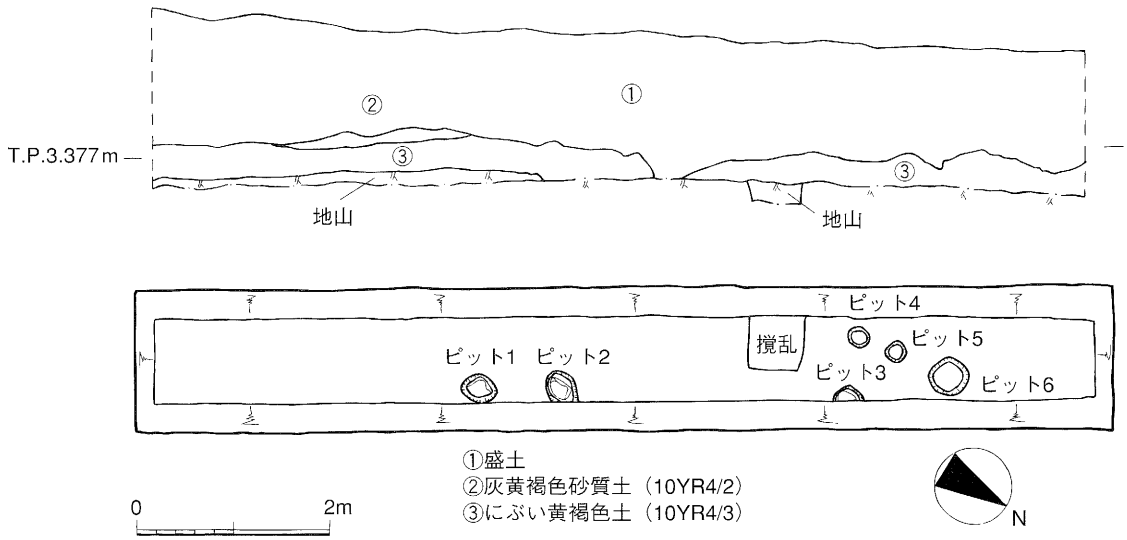


図22　トレンチ３断面図（縦1/40、横1/80）、平面図（1/80）

遺構は、トレンチの中央部から北部にかけてピットを検出した。

ピット1　トレンチの中央部で検出した長径35cm、短径30cm、深さ15cmのピットである。ピットの埋積土はにぶい黄褐色土である。ピット底部より柱を支える根石が検出された。

ピット2　トレンチの中央部、ピット1の北側で検出した長径35cm前後、短径30cm、深さ15cmのピットである。ピットの埋積土はにぶい黄褐色土である。ピット底部より柱を支える根石が検出された。

ピット3　トレンチの北側で検出したピットである。調査区の端部で検出したため規模は不明であるが、径30cm前後、深さ5cmのピットであると推察される。にぶい黄褐色土が埋積していた。ピット底部より柱を支える根石が検出された。

ピット4・ピット5　トレンチの北側で検出したピットである。ピットの規模は径約20cm、深さ約3cmである。にぶい黄褐色土が埋積していた。

ピット6　トレンチの北側で検出した径35cm、深さ5cmのピットである。にぶい黄褐色土が埋積

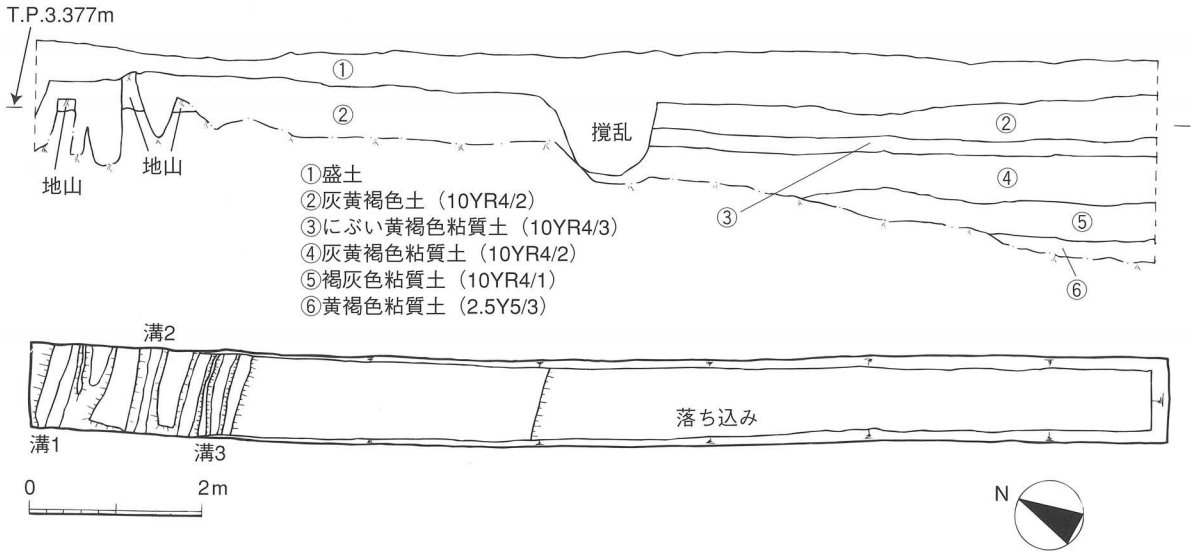


図23　トレンチ４断面図（縦1/40、横1/80）、平面図（1/80）

していた。

各ピットからは土器等は出土していない。

トレンチ4

今回の開発区域の北部に幅1ｍ、長さ13ｍの調査区を設定し調査を実施した。調査区の層序は上から盛土（層厚約30㎝）、灰黄褐色土（10YR4/2、層厚約20㎝）、にぶい黄褐色粘質土（10YR4/3、層厚約10㎝）、灰黄褐色粘質土（10YR4/2、層厚約20㎝）、褐灰色粘質土（10YR4/1、層厚約30㎝）、黄褐色粘質土（2.5Y5/3）の順である。遺物はにぶい黄褐色土、灰黄褐色粘質土より土師器、須恵器、瓦器片などが出土している。

遺構としては、トレンチの北部で溝を数条検出し、中央部から南部にかけては落ち込みを検出した。

溝1、2、3　トレンチの北部で検出した溝である。溝の幅は40～60㎝、深さは40～60㎝を測る。遺物は土師器、陶磁器片が出土している。

落ち込み　トレンチの中央部から南への落ち込み遺構である。遺物は灰黄褐色粘質土中よりサヌカイト、土師器、黒色土器片が出土している。

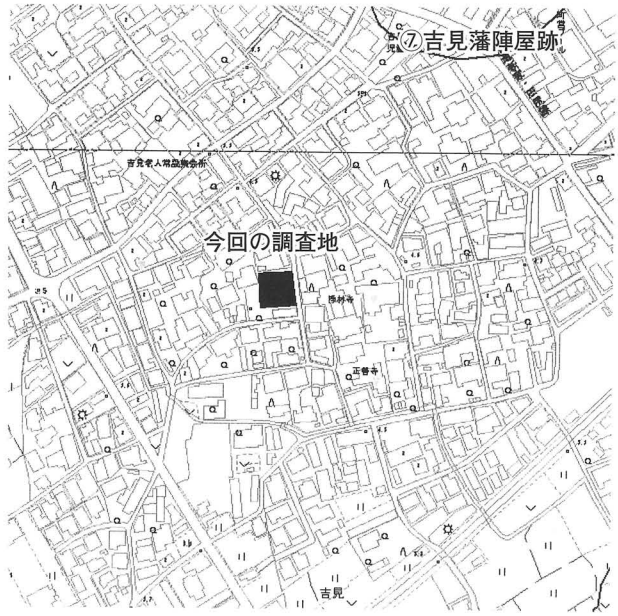


図24　調査地点位置図（1/5,000）

各種開発確認調査05

１．遺　跡　名　　範囲外

２．申　請　者　　個人事業者

３．調　査　地　　田尻町大字吉見地内

4．調査原因　共同住宅

5．申請面積　439.08㎡

6．調査面積　10㎡

7．調査期間　平成17年9月20日
～9月22日

8．調査機関名　田尻町教育委員会

9．調査の概要

今回の調査は共同住宅建築に伴う開発確認調査である。調査地は町域の西部に位置し、吉見集落の中心部に位置している。付近には近世社寺の浄林寺、正善寺や春日神社がある。

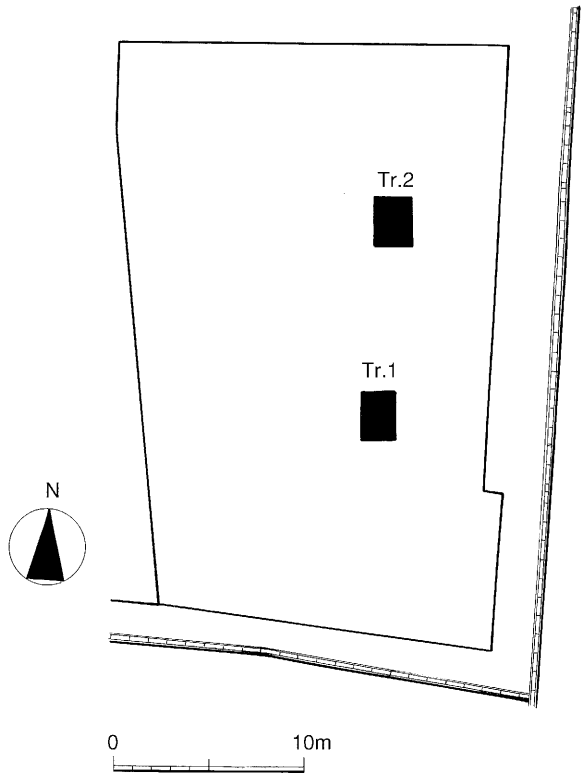


図25　調査区設定図（1/400）

調査は、申請地に2カ所の調査区を設定し、10㎡について実施した。

トレンチ1

申請地の南側に幅2ｍ、長さ2.5ｍの調査区を設定して実施した。今回の工事の基礎掘削は50㎝に満たないため、調査掘削は50㎝までとした。地表面から50㎝は盛土であり、その下層にはにぶい黄褐色砂（10YR4/3）が堆積している。遺物は出土していない。

トレンチ2

申請地の北側にトレンチ1と同様に設定し、調査を実施した。トレンチ1と同様に50㎝まで掘削したが、盛土であった。その下層には黄褐色砂（10YR4/3）が堆積し、遺物は出土していない。

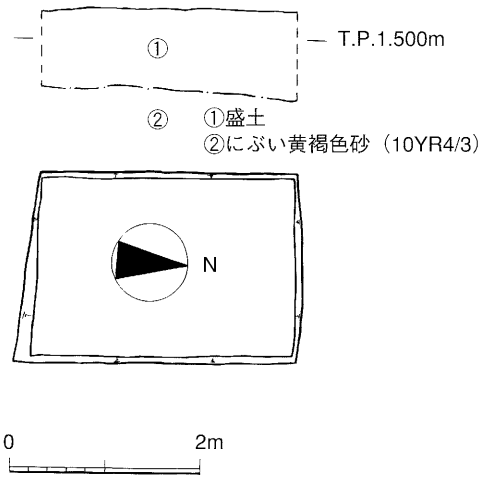


図26　トレンチ１断面図（縦1/40、横1/80）、
平面図（1/80）

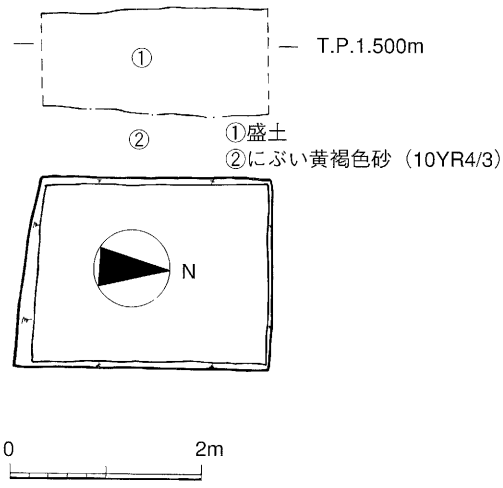


図27　トレンチ２断面図（縦1/40、横1/80）、
平面図（1/80）

各種開発確認調査06

1．遺　跡　名　範囲外
2．申　請　者　民間事業者
3．調　査　地　田尻町大字嘉祥寺地内
4．調査原因　店舗
5．申請面積　2025.56㎡
6．調査面積　9㎡
7．調査期間　平成17年10月18日
～10月19日
8．調査機関名　田尻町教育委員会
9．調査の概要

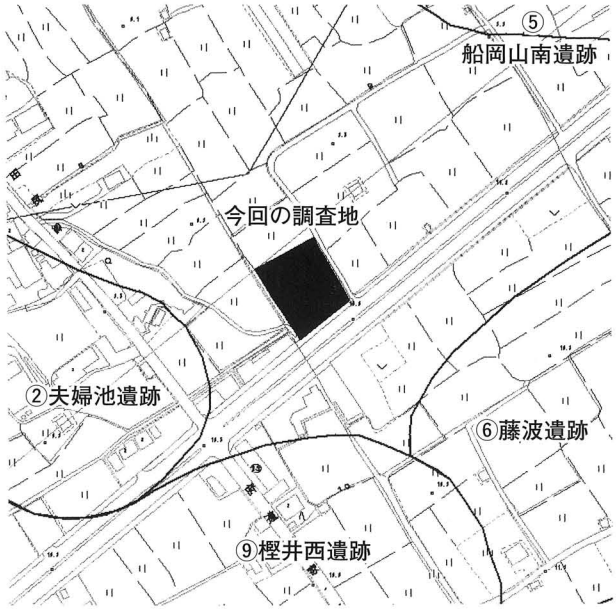


図28　調査地点位置図（1/5,000）

今回の調査は、店舗建築に伴う開発確認調査である。調査地は町域の南部、標高9ｍのところに位置している。調査地は、夫婦池遺跡（弥生～古墳時代、散布地）、樫井西遺跡（弥生～中世、集落跡）、藤波遺跡（中世、集落跡）、船岡山南遺跡（弥生～古墳、散布地）に囲まれた地域であり、遺跡の存在する可能性が高いと思われる地点である。

調査は申請地内の浄化槽設置部分に幅3ｍ、長さ3ｍの調査区を設定し実施した。調査区の層序は上から盛土（層厚約150㎝）、暗灰黄色土（2.5Y4/2、層厚約15㎝）、黄褐色粘質土（2.5Y5/3、層厚約10㎝）、褐色粘質土（10YR4/4、層厚約25㎝）の順に堆積している。遺構、遺物は検出していない。

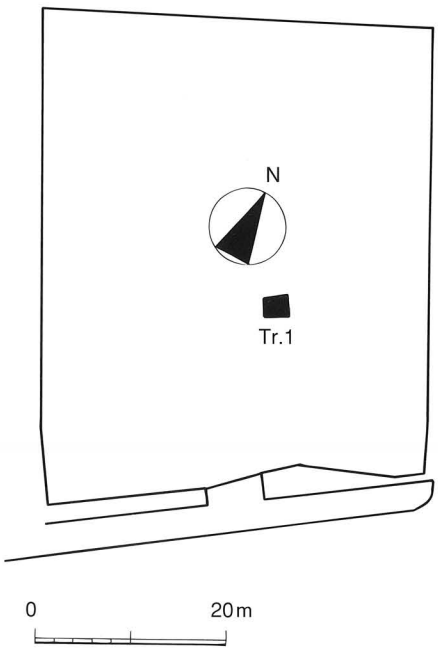


図29　調査区設定図（1/800）

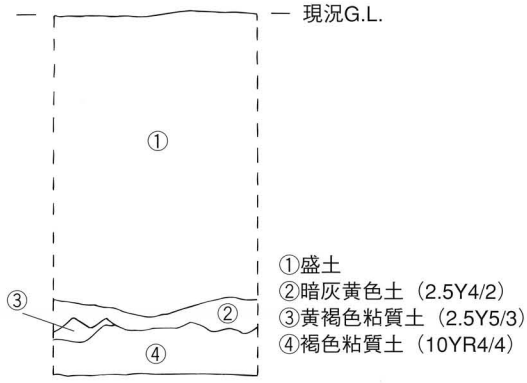


図30　土層断面図（縦1/40、横1/80）

まとめ

本年度の調査の結果、各種開発確認調査01、04により中島遺跡の範囲について01調査により北東方向へ広がっている可能性が低くなったといえる。逆に04の調査によって北西方向に広がっているものと思われる。また、今回の調査で根石の柱穴が3穴検出されているので、掘立柱建物が建っていた集落があったことが明らかとなった。

各種開発確認調査02では、顕著な遺構は確認できなかったが、出土した瓦器椀や土師器の状況から付近に中世期に属する遺跡が存在するのかもしれない。

本町域内での今後の調査の進展により、更に遺跡について詳細が明らかとなることを期したい。

図　　版

図版1

トレンチ1全景（各種開発確認調査01）

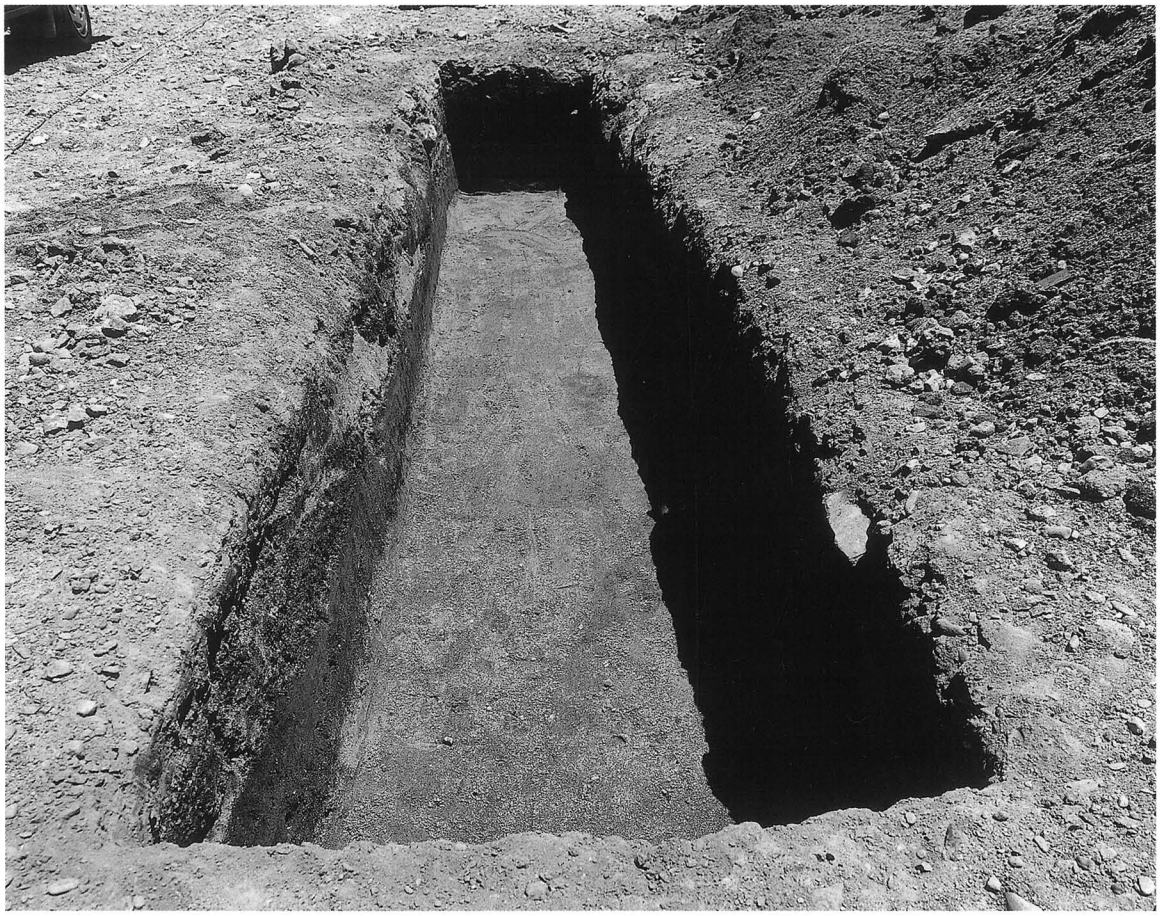
トレンチ2全景（各種開発確認調査01）

図版2

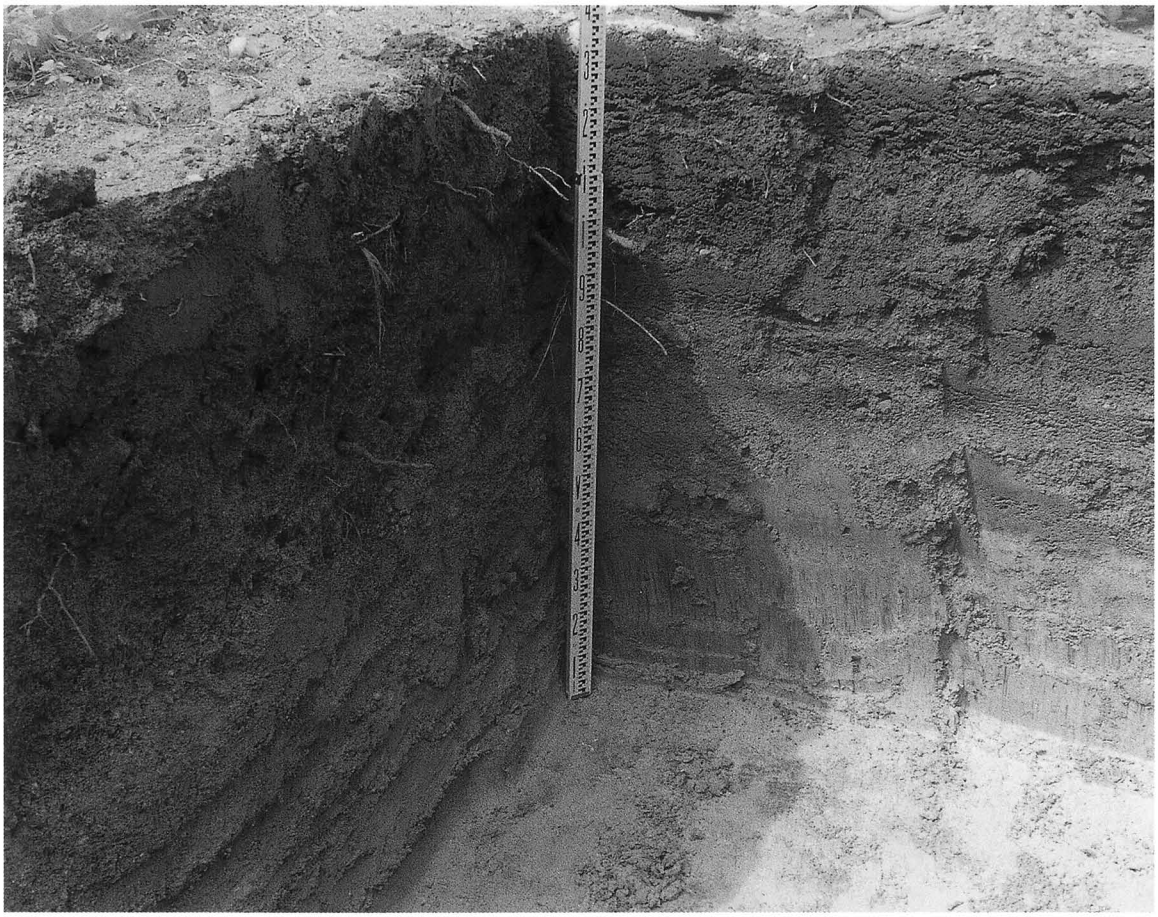
トレンチ1全景（各種開発確認調査02）

トレンチ2全景（各種開発確認調査02）

図版3



トレンチ3全景（各種開発確認調査02）



土層堆積状況（各種開発確認調査03）

図版4

トレンチ1全景（各種開発確認調査04）

トレンチ2全景（各種開発確認調査04）

図版5

トレンチ3全景（各種開発確認調査04）

トレンチ3　ピット1（各種開発確認調査04）

図版6

トレンチ3　ピット2（各種開発確認調査04）

トレンチ3　ピット3（各種開発確認調査04）

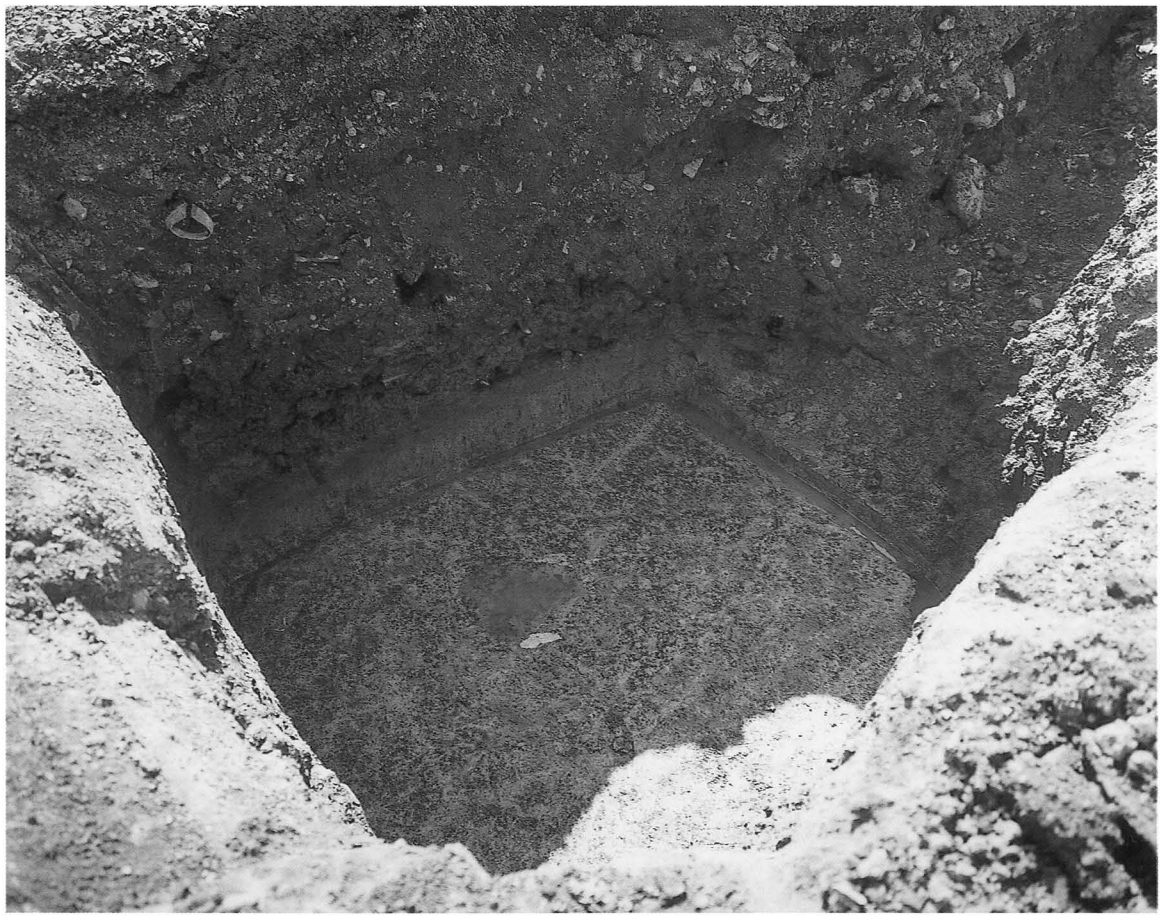
図版7

トレンチ4全景（各種開発確認調査04）

トレンチ1全景（各種開発確認調査05）

図版8

トレンチ2全景（各種開発確認調査05）



トレンチ全景（各種開発確認調査06）

報告書抄録

ふりがな	たじりちょうないいせきぐんはっくつちょうさがいよう
書名	田尻町内遺跡群発掘調査概要
副書名	
巻次	7
シリーズ名	田尻町文化財調査報告
シリーズ番号	第13集
編著者名	阪田　裕美子、中野　篤史
編集機関	泉南郡田尻町教育委員会
所在地	大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺３７５番地の１
発行年月日	２００６年３月３１日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号				(㎡)	
遺跡範囲外	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 かしょうじ 嘉祥寺			34° 39′ 398″	135° 29′ 149″	平成17年 2月28日～ 3月1日	32	寺院建設
遺跡範囲外	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34° 39′ 172″	135° 28′ 810″	平成17年 5月25日～ 5月27日	17	分譲住宅 建設
田尻遺跡	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34° 38′ 888″	135° 29′ 205″	平成17年 7月11日	2	分譲住宅 建設
遺跡範囲外 (中島遺跡)	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34° 39′ 307″	135° 29′ 057″	平成17年 6月19日～ 6月24日	45	宅地造成
遺跡範囲外	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34° 39′ 115″	135° 29′ 625″	平成17年 9月20日～ 9月22日	10	共同住宅 建設
遺跡範囲外	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 かしょうじ 嘉祥寺			34° 38′ 568″	135° 28′ 621″	平成17年 10月18日～ 10月19日	9	店舗建設

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
遺跡範囲外			なし	なし	
遺跡範囲外			なし	土師器、瓦器、陶器	
田尻遺跡	散布地	古　墳	なし	なし	
遺跡範囲外（中島遺跡）	集落跡	中　世	小穴、溝	土師器、瓦器、	遺跡発見（中島遺跡の範囲拡大）
遺跡範囲外			なし	なし	
遺跡範囲外			なし	なし	

田尻町文化財調査報告　第13集

田尻町内遺跡群発掘調査概要7

２００６年３月

編集・発行　　泉南郡田尻町教育委員会
〒598－8588
大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺375番地の１
TEL0724－66－1000（代表）

印　　刷　　株式会社小笠原印刷
大阪府泉佐野市上瓦屋646番地